

たきかわCS通信

滝川教育委員会 教育総務課 令和元年 7月 8日発行

— 第 3 号 —



学校・家庭・地域が一体となり、地域ぐるみで子どもを育てる体制



「滝川市学校支援地域本部事業」



現在、滝川市教育委員会では、学校・家庭・地域が一体となり、**地域ぐるみで子どもを育てる体制**として、「**滝川市学校支援地域本部事業**」を推進しています。コミュニティ・スクール活動を進めるうえで、学校の教育支援を担う重要な仕組みとなっています。

学校支援地域本部事業は、**学校の「こういうことをやりたい」というニーズに対して、地域の皆様の技術や技能を提供していただく仕組み**です。学校の教育活動をより活発で効果的にするため、地域ボランティアとして学校に派遣し支援いただいています。

(滝川市のボランティア登録数258名)



地域ボランティアとお店探検



夏休み学習支援

子どもたちを取り巻く環境の変化に伴い、複雑化・多様化する課題の解決に向けて、学校に対する期待はますます高まっています。

こうした中、学校や教職員だけでは限界があり、様々な課題やニーズに対応するためにも、学校と地域の連携・協働は重要です。

働き方改革が言われる中、多忙な教職員の負担感を軽減するためにも重要な役割を担っています。

学校支援地域本部事業は、地域の皆様に積極的に学校活動に加わっていただきながら、子どもたちとの交流を深め、以下の**ねらい**をもって活動を進めます。

- ・ 学校を核とした**地域の「教育力」の向上**
- ・ 体験活動などを通した**多様な教育活動の充実**
- ・ **教員が子どもたちと向き合う時間の拡大**



学校と地域がともに学び・考え・助け合う体制を構築し、地域の活性化と特色ある教育活動が実現できるよう、皆様のご協力をどうぞよろしくお願い致します。

(次回は、学校支援地域本部事業の実践例の紹介)